

平成26年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

3月9日（月）、平成26年度日本NGO連携無償資金協力署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、隈丸優次大使と特定非営利活動法人難民を助ける会（AAR）の園田駐在代表が「カンダール州における、障がい児のためのインクルーシブ教育推進事業」（供与限度額：270,886米ドル）、特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会の矢加部代表代理が「学校環境改善のための校舎・衛生施設建設及び衛生教育支援事業」（供与限度額：295,859米ドル）の贈与契約書に署名を行いました。

AARの案件では、カンダール州クサイカンダール郡の小学校4校において校舎のバリアフリー整備をすると共に、障がい児の学習環境について理解を深めることを目的に、教員の能力強化と学校での啓発活動向上ための研修を行い、同4小学校の児童、教員、地域の人々およそ3,800人に直接裨益することが期待されています。

JHPの案件では、プレイベーン州コンポトラバエク郡の小学校2校及び中学校1校において衛生し、識字教室を通じた読み書き・計算の基礎能力及び生活の質の向上ための研修を行い、地域の住民およそ1,300人に裨益することが期待されています。

式典では、隈丸大使がスピーチを行い、今回建設される施設について被供与団体によって適切に管理されることを望んでいると述べ、今回の支援が対象地の人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、難民を助ける会の園田駐在代表及び学校をつくる会の矢加部代表代理が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、団体関係者、地域住民の手によってこれらの施設を維持していくことを約束しました。



(隈丸大使と難民を助ける会の式典出席者)



(隈丸大使と学校をつくる会の式典出席者)